

Doc.No : NR031210

2003年12月10日

次世代のFMスクリーン「Randot X」を販売開始
～3つのラインアップでさらに広い色再現、高精細印刷へ

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：森野富次)は、既に発売しているAM高精細網点、AM/FMハイブリッド高精細網点(Fairdot)に加え、新たに次世代FM系高精細網点「Randot X(ランドット・エックス)」を開発し、12月15日から販売します。

「Randot X」は、従来のFM(Frequency Modulation)網点の粒状性を大幅に改善。デジタル画像処理でも除去が困難であったロゼッタモアレ、干渉モアレのパターンを解消するとともに、微細部分の再現性や色の再現領域がより広くなり印刷品質の向上を実現しています。また、最小網点サイズ、20 μ 、15 μ 、10 μ を取り揃えることで、より高精細な印刷物に対応できます。さらにFairdot同様、光学的ドットゲイン量の増加により、およそ2割程度*のインキ量の削減効果が得られます。

大日本スクリーンでは、今回の新FM網点「Randot X」を高精細印刷用網点のラインアップに加えることで、シャープな網点と高い見当精度に優れるCTP(Computer To Plate)出力の能力を最大限に発揮し、クライアントからの高精細印刷に対する品質へのご要望にさらにお答えできることとなります。

このたびリリースされる「Randot X」は、Trueflowに搭載され、サーマルCTP「PlateRite 8000」シリーズ、「PlateRite 4000」シリーズ、および「PlateRite Ultima」で出力可能となります。

*印刷条件によって異なります。

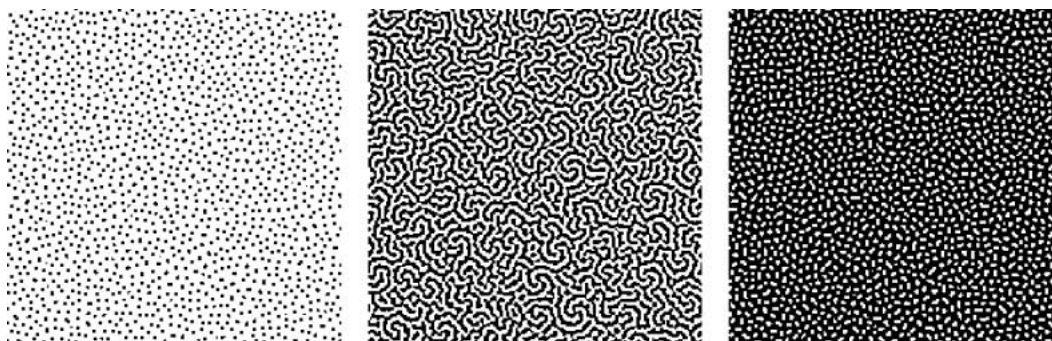
【販売予定価格・消費税別】

120万円

【発売日】

2003年12月15日

「Randot X」の網点形状
(左図より、Randot X 20 μ の20%、60%、80%平網拡大図)



●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目